

秋川橋河川公園の管理運営の状況について

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川橋河川公園
	所在地	あきる野市留原 8 1 4 番地
	所管課	環境経済部商工観光課観光推進係（内線） 2 5 3 3
指定管理者	名 称	あきる野市観光協会
	所在地	あきる野市二宮 3 5 0 番地 商工観光課内
	業務内容	①施設の利用等に関すること ・施設利用の受付業務 ・器具類の貸出し業務 ②環境衛生協力費等の徴収に関すること ・施設利用者が、施設内に自動車等を持ち入れる際の環境衛生協力費の徴収業務 ・器具類等の貸出し料徴収業務 ③施設の維持管理に関すること ・施設の清掃業務 ・施設の軽微な修繕に関する業務 ④施設の利用促進を図るための企画実施に関すること ・各種イベントの支援業務 ・施設の見学に関する業務 ・広告・宣伝業務 ・施設利用者に対する意識調査の実施業務
ホームページ URL	https://www.akirunokanko.com/?p=307	
指 定 期 間	平成 1 8 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 3 年 3 月 3 1 日	

2 施設の利用状況等について

項 目	(平成 1 7 年度)	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度
利用者数 (人)	約 60,000	約 60,000	約 65,000
前年度比 (人)		0	5,000
前年度比 (%)		100	108.3
利用料金収入 (円)	41,785,900	41,255,400	47,968,200
前年度比 (円)		△530,500	6,712,800
前年度比 (%)		98.7	116.3

3 施設の収支状況について

(単位：円)

項目		平成18年度	平成19年度
収入	指定管理料	0	0
	利用料金	30,116,900	35,890,200
	その他の収入	11,138,500	12,078,000
	計	41,255,400	47,968,200
支出	維持管理経費	1,920,364	4,340,857
	人件費	9,967,113	11,150,481
	その他	5,939,092	7,107,588
	計	17,826,569	22,598,926
収支合計		23,428,831	25,369,274

4 利用者からの苦情・意見等とその対応状況について

意見等の概要	対応状況
道具類の持込禁止について苦情が多い。	河川環境保全ということで説明をし、大半の利用者には理解していただいているが、どうしても私物の道具類を使用したいお客様に対しては、他の施設を紹介している。

5 利用者満足度の把握について

把握方法	聞き取り調査
調査結果	道具類を使用したまま返却できるので、便利であるとの意見がある。また、川がきれいで大変満足したという意見も多く寄せられている。

6 利用者サービスの向上又は経費の削減等に向けた取組について（実績・予定、効果等）

取組の内容	効果等
下洗場の改修を行い、利用者の利便性を図った。	老朽化した下洗場の改修を行い、利用者の方に喜ばれた。
情報誌等への宣伝媒体へのバーベキュー施設案内への記事を掲載。その他クーポン券等を掲載し、利用者への割引サービスを実施する。	平成19年度のクーポン券の利用は3件だったが、その他の宣伝効果により施設利用者数は増加している。
利用者に対して常に感謝の気持ちを持って業務に取り組んでいる。	リピーターの増加につながっている。

7 総合評価

指定管理者の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための総括又は自己評価)

特に、大きな問題もなく管理を行っている。また、苦情についても、上述のとおり、基本的な決まりについての苦情であり、持ち込み禁止の理由を説明し、大半のお客様には納得していただき、楽しんでいただいている。利用者の多くはリピーターであり、今後も、多くのお客様に気持ちよく利用していただけるよう努力していく。

設置者（所管課）の評価

(次年度以降における業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る括的な評価)

利用者数や収支状況を見てみると、平成19年度においては、利用者数については前年度対比で約5,000人増加し、収入についても約6,700千円増加している。収支は約25,370千円の利益があり、前年度対比約2,000千円増加している。

武蔵五日市駅から徒歩5分という立地条件や公園の規模の違いから、第1水辺公園リバーサイドパークの谷や第4水辺公園秋川ふれあいランドと比較すると、利用者数等にも大きな開きがある。年間を通してのピークはゴールデンウィークであり、この時期は400台収容できる駐車場が満車となり、川原は足の踏み場もないほどの賑わいを見せている。また、夏休み期間中も多くの人で賑わい、この付近は川の流れも緩やかなことからバーベキューをしながら川遊びをする家族連れも多い。

これだけ多くの方に利用されている施設であるが、市に対し利用者からの苦情はまったくなく、利用者に対する接客も施されていることが伺える。以前は、「川を利用するのになぜお金を支払うのか」といった苦情が寄せられていたが、河川公園のシステムが利用者に理解され、納得してもらっていると理解している。

今後も、引き続き積極的なサービスを展開し、従業員教育なども行い、更なる利用者の増加を図り、あきる野市内により多くの観光客を呼び込むことが重要であると考えている。